

農林水産省 統計部

入省案内2024

より確かな
未来のために
日本の“今”を
調査する

農林水産省 大臣官房 統計部

〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1

【連絡先】

管理課 採用担当
TEL 03-3502-8111（内線 3554） 03-3502-2786（直通）
Email saiyou_stat@maff.go.jp

【交通】

東京メトロ 丸ノ内線・日比谷線・千代田線『霞ヶ関』駅下車
A7 出口（本館正面玄関：赤色で表示）又は
B3a 出口（北別館：黄色で表示）
※統計部採用担当は「北別館」の3Fになります



MAFF
Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries
農林水産省



農林水産統計データは
こちら



インターネットの農林
水産省 統計部採用情報
もご覧ください

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

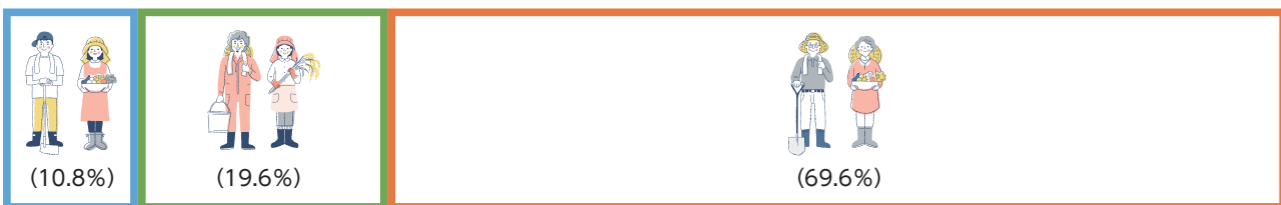
日本の食と農林水産業の実態はどうなっているの？

どんな人が農業を担っているの？（令和2年）

基幹的農業従事者：136.3万人
平均年齢：67.8歳



農林業センサス



15歳～49歳 50歳～64歳 65歳以上

※ 基幹的農業従事者とは、個人（世帯）で事業を営む経営体のうち、15歳以上で主に仕事として農業に従事している世帯員をいう。

農業経営体数は107.6万経営体、販売農家は102.8万戸です！

令和4年の新規就農者は4.6万人、うち49歳以下は1.7万人です！



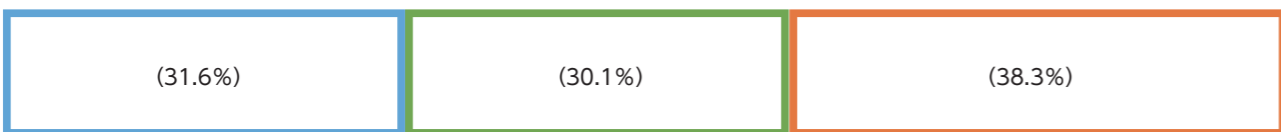
新規就農者調査

どんな人が漁業を担っているの？（平成30年）

漁業就業者：15.2万人
平均年齢：56.9歳



漁業センサス



15歳～49歳 50歳～64歳 65歳以上

※：1 漁業就業者とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に年間30日以上従事した者をいう。
2 平均年齢は、漁業センサスより各階層の中央値を用いた推計値。

海面漁業経営体は7.9万経営体、内水面漁業経営体は4.8千経営体です！

令和4年度の新規漁業就業者は0.17万人です！（水産庁調べ）

どんな人が林業を担っているの？（令和2年）

林業経営体：3.4万経営体
林業従事者：4.4万人



農林業センサス

※ 林業従事者は総務省「国勢調査」

耕地はどの位あるの？（令和5年）

耕地面積：429.7万ha
(42,970km²)

耕地率：11.5%
うち田：233.5万ha
うち畑：196.2万ha

※ 耕地率とは、国土面積のうち、耕地面積（田畑計）が占める割合（%）。



作物統計調査



北海道の面積(約83,422km²) (※)の1/2程度

※ 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(R5.7.1現在)

品目別の作付面積は？（令和5年産概数値）

水稲作付面積：153.1万ha
(15,310km²)

麦類作付面積：29.6万ha

※ 麦類には、小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦を含む。

大豆作付面積：15.5万ha



作物統計調査

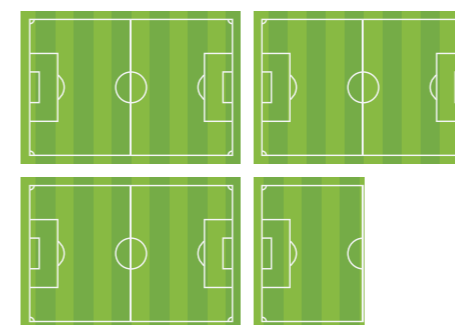


岩手県の面積(約15,725km²) (※)と同程度

※ 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(R5.7.1現在)

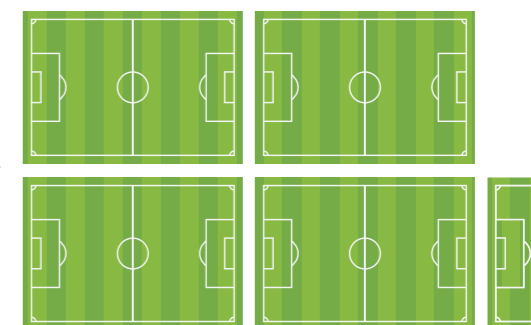
経営規模はどの位？

(2015年)
農業経営体1経営体当たり
経営耕地面積：2.5ha



サッカーのピッチ約3.5面分

(2020年)
農業経営体1経営体当たり
経営耕地面積：3.1ha



サッカーのピッチ約4.3面分

※ サッカーのピッチサイズは、FIFA（国際サッカー連盟）が推奨する105m×68mで計算。

100ha以上の経営耕地面積を有する農業経営体もあります！



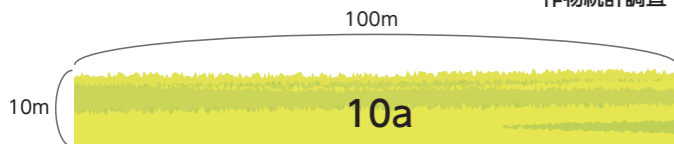
農林業センサス

お米の生産量は？ (令和5年産概数値)

水稻収穫量：716.5万ト
単収：533kg (10a 当たり)



作物統計調査



米俵約9俵分 (1俵 60kg)



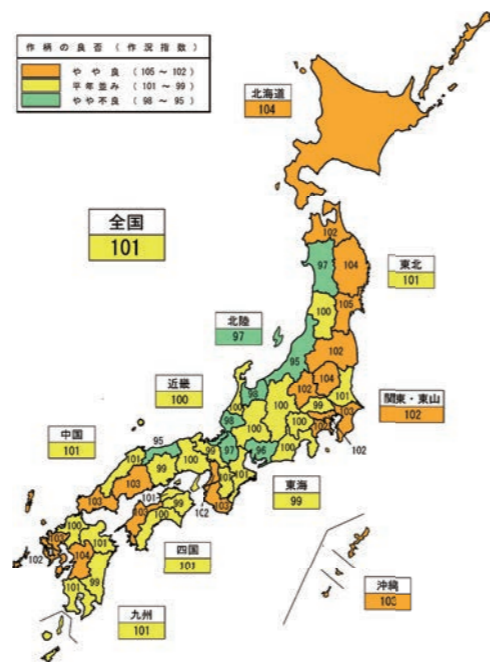
※ 1人当たり年間米消費量は 50.9kg
(食料需給表：令和4年度概算値)

今年は豊作？不作？ (令和5年産概数値)

作況指数：101
作柄の良否：平年並み



作物統計調査



令和5年産水稻の作況指数 (概数値)

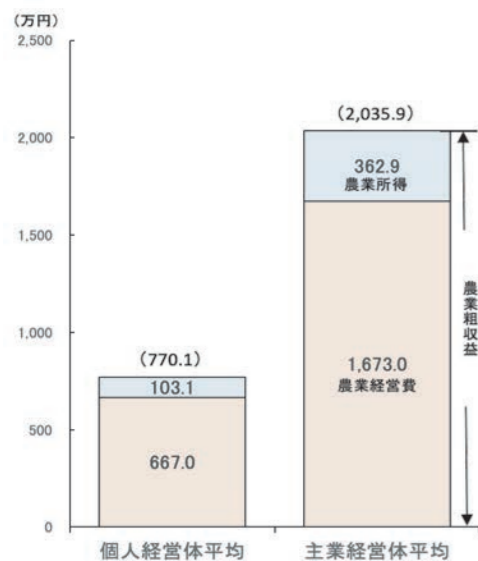
農業の収入はどの位？ (令和4年)

農業所得
個人経営体：103.1万円
主業経営体：362.9万円



営農類型別経営統計

※ 主業経営体とは、農業所得が主で、
自営農業に60日以上従事している
65歳未満の者がいる個人経営体をいう。



農作物を作るのにかかる 費用は？ (令和4年産)

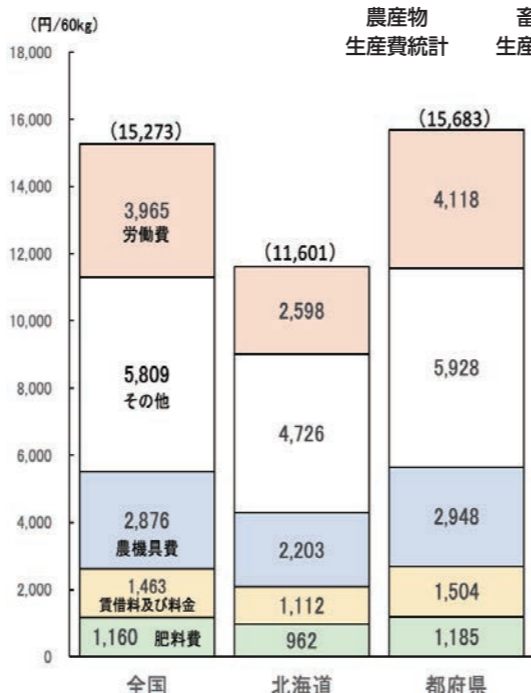
米生産費 (個別経営体)
60kg 当たり：15,273円



農産物
生産費統計



畜産物
生産費統計



農林漁業関連産業の市場規模は？ (令和3年)

農業・食料関連産業の国内生産額

※ 国内生産額とは、生産された財及びサービスを生産者が出荷・提供した時点の価格 (生産者価格 (消費税を含む。)) で評価したもの

農業・食料関連産業 108.5兆円
(全経済活動に占める割合 10.5% ※内閣府「国民経済計算」)



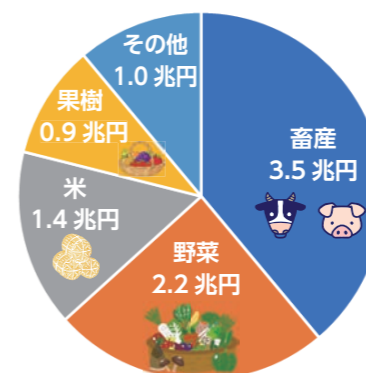
資料：農林水産省「農業・食料関連産業の経済計算」を基に作成
※ 国内生産額の割合 (%) は出典資料における統計の推計方法等が異なるため、参考値として記載

資材供給産業等
5.1兆円
(0.5%)

農業産出額は？ (令和4年)

農業総産出額：9.0兆円

<部門別の内訳>



生産農業所得統計

<上位5都道府県>

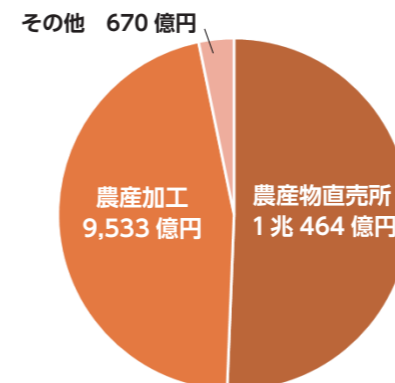
- 北海道：1兆2,919億円
- 鹿児島：5,114億円
- 茨城：4,409億円
- 千葉：3,676億円
- 熊本：3,512億円

6次産業化の状況は？ (令和3年度)

総販売 (売上) 金額：2.3兆円
総従事者数：45.0万人

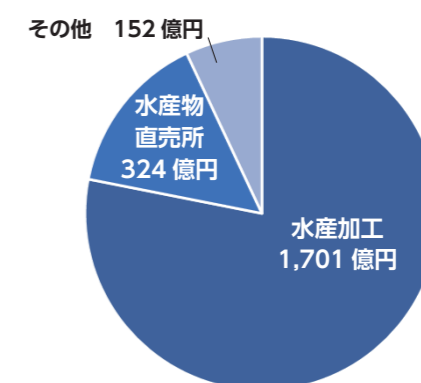
※ 農業生産関連事業と漁業生産関連事業の計

農業生産関連事業の
総販売 (売上) 金額の内訳



※ 「その他」は「観光農園」、「農家レストラン」、「農家民宿」

漁業生産関連事業の
総販売 (売上) 金額の内訳



※ 「その他」は「漁家レストラン」、「漁家民宿」

農林水産統計ができるまで

農林水産統計は「①企画、②設計、③調査実施・取りまとめ、④公表」の行程に沿って作成されています。本省と地方農政局が協力して実施しています。



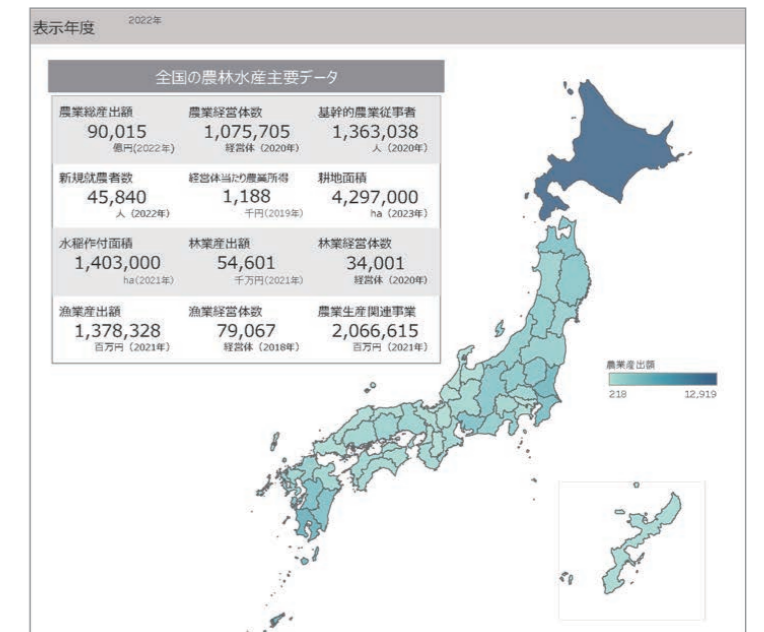
政策などのニーズを把握し、調査を企画します。



調査票に基づき、面接、郵送などにより調査を行います。調査票を回収し、集計を行い、総数や平均値などの調査結果を取りまとめます。

- ☑ 面接、郵送等
- ☑ 審査・集計

MAFF 統計ダッシュボード

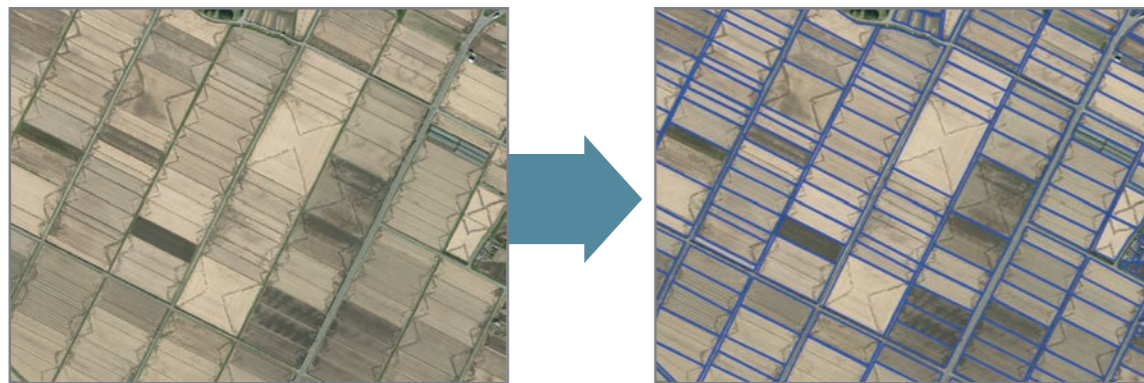


取りまとめた調査結果を、ホームページなどで公表します。新聞などメディアにも掲載されます。

人工衛星画像データや AI（人工知能）を活用し、調査を効率化しています。

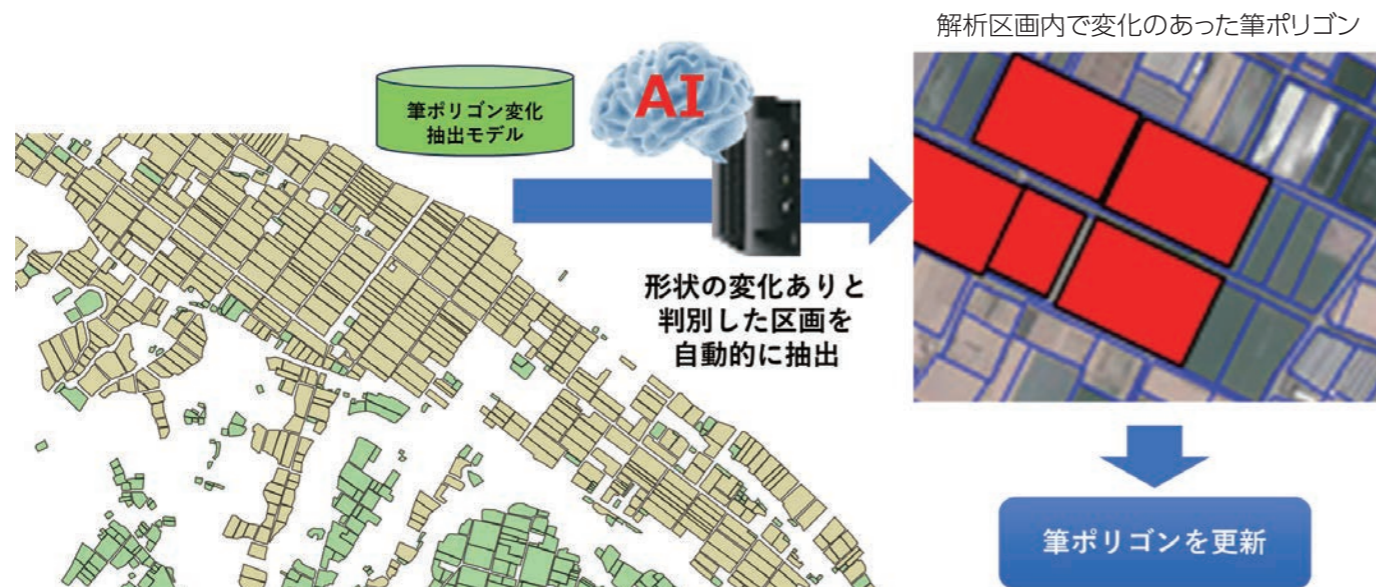
人工衛星画像を用いた筆ポリゴンの整備

人工衛星画像をもとに「ほ場」の形状に沿って作成した農地の区画情報（筆ポリゴン）を整備し、オープンデータとして幅広く提供しています。
筆ポリゴンは、耕地面積調査に活用するほか、民間事業者が開発・提供するスマート農業技術、行政機関や農業団体による農地情報のデジタル化など様々な場面で活用されています。



AI を活用した筆ポリゴンの更新作業

「ほ場」は大規模化、農地以外への転用等で形状が変化することがあるため、筆ポリゴンは更新が必要です。更新作業では、AI を活用して人工衛星画像等を解析し、形状等の変化ありと判別した解析区画内の筆ポリゴンについて更新を行っています。



統計データの分析を行い、政策立案を支援しています。

統計データ分析支援の取り組み

統計部では、「統計データ分析支援チーム」をつくり、政策担当部局とも協力しながら統計データの分析を行い、政策立案を支援しています。

データ利活用・分析の取り組み事例

事例① 農泊実施による効果・満足度分析

農林業センサス、携帯端末の位置情報、SNS の投稿データ等の多様なデータを使って、農泊実施による農山漁村地域への効果や農泊の満足度及びその効果や満足度に影響する要因について分析を行いました。

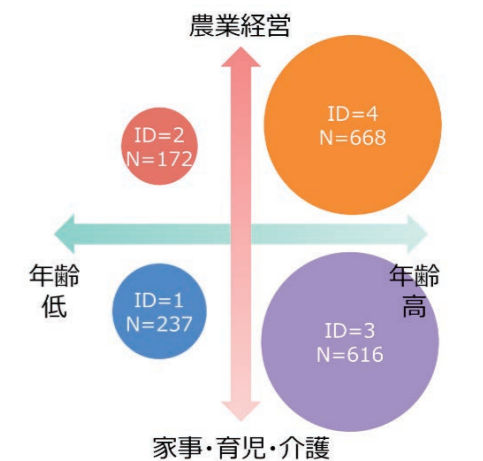
各トピックと関係性の高い単語の分類結果

| | トピック1のキーワード群 | トピック2のキーワード群 | トピック3のキーワード群 |
|-------|---|--|---|
| 単語群一覧 | 白杵、民泊、宿泊、農業、旅行、農村民泊、体験、ホームステイ、笑、伊豆高原、民宿、修学旅行 | 農村民泊、写真、蔵王、振興、投稿、観光、伊豆高原、民宿、修学旅行 | 農家民宿、民泊、農村民泊、体験、農業、宿泊、旅行、修学旅行、安曇野 |
| 単語の特徴 | 「体験」「ホームステイ」「場所」「グリーンツーリズム」などの体験の中身に関する関心を示す単語が多い | 「振興」「協議」「写真」「投稿」「話題」等、受入れ側が農泊を地域振興に結びつけたり、地域活動を広報したりする話題を示す単語が多い | 「旅行」「民泊」「宿泊」「農家民宿」など、旅行としての農泊に関する話題を示す単語が多い |
| 名称 | 体験・経験トピック | 地域振興・広報トピック | 観光・宿泊トピック |

農泊に関連する SNS への投稿をトピック分類

事例② 農業における女性活躍に関する特徴把握分析

女性活躍に関する意識・意向調査のデータを使って、女性農業者の農業経営等への関わり方別の特徴や女性が農業経営に参画している農業経営体の特徴を把握するための分析を行いました。



女性農業者の農業経営への関わり方を類型化



分析レポートの詳細は農林水産省のホームページに掲載しています。
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/bunseki/index.html>

キャリアパス

採用時、①本省統計部、②地方農政局統計部のいずれかを主としたキャリアパスを選択できます。②の場合、採用時から2年間は本省勤務となりますが、入省3年目以降は地元または地元に近い農政局で勤務できます。

採用されるとまずは東京の霞ヶ関での勤務となります。その後、特に係員のうちは、各種研修を受講しながら、1～2年と短いスパンで異動し、スキルアップを図ります。

本省統計部以外の政策立案部局や他省庁、地方農政局や海外派遣などの勤務経験の機会もあり、それらの経験を経て、将来的には統計の専門家として活躍することが期待されています。

係員 (1～7年目)

p.11：本省
p.20：地方農政局



係長 (8～20年目)

p.12～15



課長補佐 (20年目以降)

p.16：本省
p.19：地方農政局



管理職

p.21



統計を通じ、世界の食料安全保障に貢献しています。

統計部で培った知見を海外で活かす

統計部では、開発途上国に対する技術協力を中心とした国際関係業務も行っています。

例えば、国連食糧農業機関（FAO）などの国際機関等を通じた技術協力プロジェクトの実施、国際会議への参加、各国農業統計機関との対話、海外調査出張、農林水産分野のSDG指標のとりまとめ等を行っています。国際機関や大使館等に出向し、海外勤務を経験することも可能です。

語学力を活かしたい方はもちろん、今は語学力に自信のない方でも、入省後、様々な研修や業務を通じて経験を積み、多様な国際関係業務を担うことができます。



FAOプロジェクトのワークショップに参加する職員（タンザニア）

具体例 アセアンを通じた取組

アセアン地域では、域内の食料安全保障状況を把握・監視し、各国の政策立案に必要とされる統計データを提供する仕組みとして、「アセアン食料安全保障情報システム（AFSIS）」を実施しています。統計部ではAFSISを通じて、様々な支援事業を実施しており、現在は、緊急時において各国政府の政策立案等に必要な地域のデータを、迅速に収集・公表する仕組み構築のため支援しています。

本事業実施に当たっては、統計部から1名の職員が、AFSIS事務局が設置されているタイ農業協同組合省に、専門家として派遣されています。専門家の業務は、事業の活動計画作成や進捗管理、緊急時データ収集手法の検討、メンバー国に対する研修の講師、国際機関や各国政府等の関連機関との協力関係構築等、多岐に渡っています。



トウモロコシほ場を視察する専門家（タイ）



米農務省主催若手統計官研修に参加する職員（米国）



世界銀行を訪問する職員（米国）



国際会議で発言する職員（タイ）

私は新規就農者と 漁業就業者の数を 把握する調査を担当しています。

センサス統計室農林漁業担い手統計班就業統計第1係長

森田 亜由子

career

平成13年 入省（Ⅱ種行政）統計情報部流通消費統計課
平成19年 大臣官房情報課分析班分析第2係長
平成20年 統計部生産流通消費統計課畜産・木材統計班畜産統計第3係長
平成21年 育児休業（約2年）
平成24年 育児休業（約1年）
平成25年 統計部生産流通消費統計課面積統計班土地利用統計係長
平成28年 大臣官房広報評価課情報システム管理班システム管理第3係長
平成30年 大臣官房政策課企画専門職
令和3年 統計部センサス統計室農林漁業担い手統計班就業統計第2係長
令和4年 現職



志望動機

私は東京で生まれ育ちましたが、農村風景が好きで、農業や農村に携わりたいと思い、農林水産省を志望しました。

現在の仕事内容

私は現在、新規就農者調査と漁業構造動態調査という2つの調査を担当しています。新規就農者調査は新たに就農した人の数を調べる調査です。近年、農業の担い手不足が懸念されている中、農業の担い手を増やしていくことが重要な課題となっており、公表時には注目される調査です。一方、漁業構造動態調査は漁業経営体数や漁業就業者数を調べる調査です。農業と漁業という異なるベースの調査を担当していますが、どちらも基本的な業務内容は、地方組織とやり取りをして調査を実施し、地方組織から報告された調査結果に誤りや疑義がないか審査し、取りまとめ、公表を行うものです。また、調査の見直しに向けて民間業者とやり取りしながら検討するなどしています。仕事においては誤りや漏れのないよう気を使いますが、幅広い内容を担当でき、やりがいを感じられる仕事です。

職場の雰囲気

農林水産省全体に言えることだと思いますが、派手ではなくほのぼのとしたアットホームな雰囲気の職場で、居心地が良いと思います。特に統計部は皆さん、相談しやすい方ばかりで、サポートしあって仕事を進めていこうという雰囲気がありますし、育児休業やテレワークなど、個人の働き方を尊重し合う雰囲気があります。また、最近は若手職員が増えてきて、優秀な若手の皆さんの元気とパワーを感じる日々です。課室の垣根を越えての座談会やイベントも多く、楽しく働ける職場だと思います。

学生へのメッセージ

統計部というと数式や数字を見るばかりの難しい仕事というイメージがあるかもしれませんが、決してそればかりではないです。周りの方々と協力して仕事を進められる環境です。また、統計部は農業、林業、水産業、流通分野など幅広い分野の統計を扱っており、色々な分野の仕事を担当し、その分野の理解を深めることができるのが魅力かと思います。少しでも興味を持たれた方はぜひ、統計部の業務説明会にお越しください！



私は公務員を目指す皆さんに 農林水産省統計部を知ってもらう 仕事をしています。

管理課総務班人事係

佐藤 優多

career

平成31年 入省（一般職（大卒程度）行政）
統計部センサス統計室農林業センサス統計第1班センサス統計第1係
令和3年 農産局農産政策部企画課水田農業対策室
土地利用型農業調整班調整第1係
令和5年 現職

志望動機

農村地帯で生まれ育ち、農業が身近であったことから農林水産省に興味を持ち、中でも政策立案の基礎となる統計に専門的に携わる職員を独自で採用・育成していく点に魅力を感じ、統計部を志望しました。

現在の仕事内容

人事係（係員）の仕事は、大きく①人事関係、②給与関係、③栄典関係の3つに分けられます。①人事関係では、主に採用活動を担当しています。統計部では、統計の専門家の育成を目的とし、独自で採用を行っています。1人でも多くの方に統計部を知っていただき、興味を持っていただくため、業務説明会をはじめとした各種採用活動の企画、実施をしています。統計部新規採用 PT（プロジェクトチーム）メンバーにも協力をお願いしつつ、参加いただく皆さんにとって有意義な時間となるよう、統計部の業務や雰囲気などが伝わるように実施します。ほかにも、統計部職員に関する各種データの整理、任期付職員・非常勤職員の採用などに携わっています。②給与関係では、統計部職員の期末・勤勉手当（ボーナス）や昇給、通勤手当に係る事務などに携わっています。ミスが起こらないよう入念にチェックします。③栄典関係では、統計部の調査に調査員や調査客体として長年ご協力いただいた方などに感謝の意を表す、大臣感謝状関係の事務を主に担当しています。ほかにも、褒章・勲章に係る事務にも携わっています。普段なかなかお目にかかれない勲章を見る機会もあります。

統計部の魅力

アットホームな雰囲気、話しかけやすい雰囲気の上司、先輩が多く、周囲の指導・サポートを受けながら、日々の業務をこなすことができる職場だと思います。また、研修を積極的に受講しやすい職場でもあります。私は学生時代に統計を学んでいたわけではなく、統計の知識はほとんどありませんでしたが、入省後の研修は充実しており、統計への理解を深めることが出来たと思います。仕事以外にも、休暇を取得しやすかったり、ワークライフバランスに関する色々な制度を活用しやすかったりと、働きやすい職場だと思います。

学生へのメッセージ

ご自身に合った就職先を見つけるためには、色々な説明会などに参加することが大切です。その中で何かの縁で統計部に興味を持っていただいた際には、ぜひ採用イベントにご参加ください！アットホームな雰囲気でお待ちしています！皆様の進路選択の助けとなるよう、（あわよくば「統計部で働きたい！」とお願いいただけるよう、）採用イベントはもちろん、電話1本・メール1通でも、丁寧に、真摯に、皆様に寄り添った対応をします！



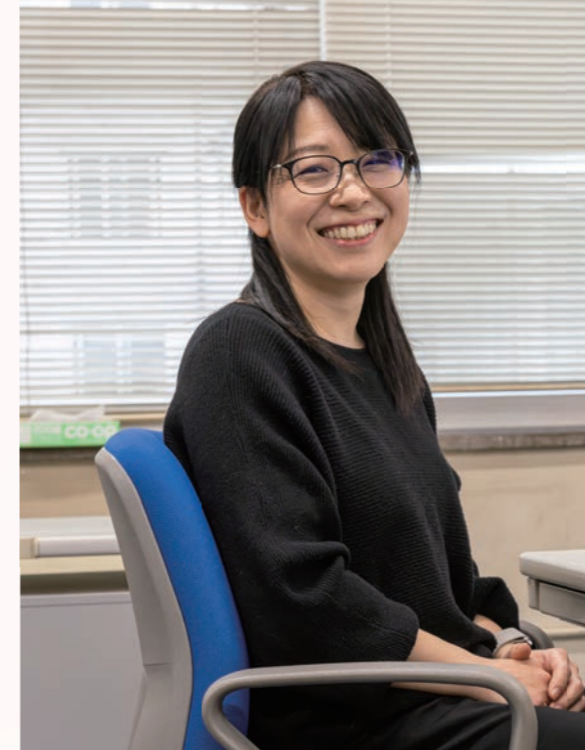
私は水産物の用途を調べる調査を担当しています。

消費統計室食品産業動向班食品産業流通統計係長

岩館 睦

career

平成 10 年 入省（Ⅲ種行政事務）
 経済局統計情報部情報システム課
 平成 21 年 統計部統計企画課統計データベース運営班システム運営係長
 平成 21 年 育児休業（約 1 年半）
 平成 23 年 統計部統計企画課統計データベース運営班システム利用推進係長
 平成 24 年 育児休業（約 3 年）
 平成 26 年 大臣官房評価改善課情報企画班情報企画第 3 係長
 平成 27 年 大臣官房広報評価課情報システム管理班システム管理第 3 係長
 平成 28 年 統計部消費統計室流通消費企画班分析係長
 令和元年 統計部統計企画管理官付調査改善班調査調整係長
 令和 5 年 現職



— 志望動機

高校時代に酪農農家で2か月間体験学習をさせていただき、農業や農業を支える仕事に魅力を感じるようになりました。お世話になった農家さんへお土産話になればと思い参加した説明会で、農林水産施策の礎となる統計部の業務内容に強く惹かれ志望しました。

— 現在の仕事内容

消費統計室では、農畜産物や水産物の流通消費分野に関する統計調査を行っています。
 具体的には、6次産業化への取組の実態、青果物・水産物の流通段階別の価格形成、野菜や果実の卸売数量・卸売価額、豚肉・牛肉・鶏肉・鶏卵、牛乳、水産加工品等の生産量、水産物の在庫増減量・用途別量、野菜・果実・鶏肉・鶏卵の市況情報、野生鳥獣の解体・販売の実態、食品廃棄の発生量及び再生利用の実態の把握といった様々な調査を実施しています。
 現在担当している産地水産物用途別出荷量調査は、主要な漁港で水揚げされた水産物がどのような用途に仕向けられたのかを調査し、その結果は食料需給表や水産基本計画などに利用されています。私自身これまで比較的システム整備に関係する業務が長く、地方勤務や育児休業などもあり、本省で本格的に調査を受け持つのは今回が初めてでしたが、ひとつの調査について準備から公表まで担当できるため、責任の重さと同時にやりがいを感じています。
 また、「統計部愛される働き方プロジェクト」のメンバーとして、働き方改革やモチベーションが上がる職場づくりに向けた活動を通じて、課室や年齢の枠を超えた関わりも楽しんでいます。

— 最も印象に残っている出来事・経験

入省後、本省で3年間勤務した後、希望が叶って北海道農政事務所管内で2年間勤務しました。一度本省に戻り、再度希望して近畿農政局管内で3年間勤務しました。北海道では慣れない雪かきに苦労したり、奈良の山間地で田んぼを探して迷子になったり、農家さんのお話に傾きながらも実は一部言葉が分からず後でこっそり先輩に教えていただいたり…頭に浮かぶのは失敗談ばかりですが、どれも皆さんに親切にいただいた良い思い出として記憶に残っています。



休日は子どもとスキーに行ったりして、リフレッシュしています。

私は耕地面積の調査を担当しています。

生産流通消費統計課面積統計班耕地面積統計係長

本多 卓也

career

平成 16 年 入省（Ⅱ種行政）
 統計部生産流通消費統計課
 平成 23 年 統計部生産流通消費統計課解析係長
 平成 25 年 生産局技術普及課生産資材対策室調査係長
 平成 28 年 統計部センサス統計室就業統計第 1 係長
 令和元年 統計部管理課統計分析審査官
 令和 4 年 現職



— 志望動機

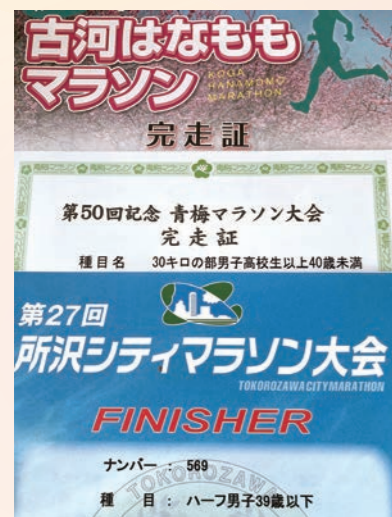
日々の生活に身近な「食」や「環境」に携わる仕事がしたいと思い、農林水産省を志望しました。

— 現在の仕事内容

私が所属している生産流通消費統計課では、主に農業の生産基盤となる耕地や農林水産物の生産実態を把握するための調査を所管しています。具体的には、耕地面積や作付面積、米、畑作物、果樹、野菜、花き等の生産量に係る統計、家畜の飼養戸数、飼養頭（羽）数に係る統計、木材の生産量に係る統計、漁業の生産に係る統計などがあります。
 私は、耕地面積、作物の作付面積を所管している面積統計班に所属し、耕地面積調査を担当しています。具体的には、耕地（農作物の栽培を目的とする土地）が日本全国、都道府県ごとにどのくらいあるかを毎年調査・公表しています。公表した調査結果は、食料・農業・農村基本計画における農地面積の見通しの策定・検証など、各種施策を推進するために欠かせない基礎データとして利用されています。また、調査・公表するだけでなく時代の変化に対応した調査の効率化等が求められており、品質を確保した上で、より調査が効率的に実施できないかといった検討も進めています。

— 最も印象に残っている出来事・経験

入省から約 10 年経過した頃、生産局（現農産局）で3年間、肥料、農薬等の農業生産資材のコスト低減に関わる業務に携わりました。統計部での業務は、統計部組織内でのやり取りが基本でしたが、生産局では業界団体等の外部との意見交換、施策検討プロセスへの参画など、これまでになかった業務を経験したことは、戸惑う事も多々ありましたが、新鮮で大変貴重な経験でした。さらに、省内外への説明資料の作成、施策の検討、検証等様々な場面で統計が用いられており、統計が農林水産行政を支えるインフラとして必要不可欠であることを身をもって実感できたことも、現在統計部で業務をする上で、大変貴重な経験でした。また、当時、統計の利用に当たって、統計部の先輩方に色々相談等させていただいた際、急な確認・相談にも関わらず、的確かつ丁寧に対応いただき何度も助けてもらったことも強く印象に残っています。



同僚・上司とマラソン大会に出ました。10年近く前ですが（笑）

— 学生へのメッセージ

私の浅い経験上で恐縮ですが、将来的に統計部以外の部署で働くこととなった場合も、施策の検討、立案、検証等の基礎となる統計の知識・知見は必ず役立つと思います。少しでも統計部に興味を持たれたら、まずは業務説明会に参加してみてください。そして最後には農林水産省、そして統計部を志望していただけたらうれしいです。
 さらに、時代の変化に対応した統計調査の効率化に向けた検討・実行に、柔軟な発想を持った若い皆さま方に協力・参画いただけたらもっとうれしいです。

— 学生へのメッセージ

統計調査業務は公表までの道筋が明確なため、自分のペースで計画的に取り組めることが大きなメリットだと感じています。また、テレワークやフレックスタイム制度の活用など、人生の様々なステージに合わせた働き方ができる環境についても整いつつあると思います。愛着を持って働き続けられる職場を皆さんと一緒に作っていただけたら嬉しいです。

私は農家の方の 1年間の経営収支を把握する 調査を担当しています。

経営・構造統計課課長補佐（営農類型別経営統計班担当）

小林 智晴

career

平成13年 入省（Ⅱ種行政）
和歌山統計情報事務所企画情報課
平成18年 統計部消費統計室流通動向第2班市況情報運用係長
平成23年 大臣官房情報評価課分析班分析第2係長
平成23年 統計部統計企画管理官付総合解析班産業連関係長
平成28年 統計部センサ統計室構造企画班第1係長
令和2年 九州農政局統計部調整課課長補佐
令和4年 現職



— 志望動機

「食」を支えるだけでなく、国土の保全や景観、地域文化の継承など、国の礎を築くために欠かすことのできない役割があることに魅力を感じ、志望しました。

— 現在の仕事内容

経営・構造統計課は、①農林漁業者の経営収支、②農畜産物の生産コスト、③農業に関する物価動向、④1年間に生産された農林漁業の産出額などの統計データを作成し、農林水産業の経営状況を的確に把握し、将来に渡って農林水産業が持続的に発展していくよう適切な施策を推進するための基礎資料を提供するなどの業務を行っています。

私が担当する営農類型別経営統計は、水田作や露地野菜作などの営農類型ごとの1経営体当たりの経営収支を把握しており、具体的には、農産物販売収入や制度受取金等の「収入」に対して、肥料、農薬、飼料等の「費用」がどの程度必要であり、最終的に収入から費用を差し引いた「所得」がいくらになったのかなどを調査しています。

私の業務は、地方組織から報告された調査結果に誤りや疑義がないか審査し、取りまとめ、公表を行うことです。公表した調査結果は、「白書」などにおいて農業経営の実態や経営分析、「国民経済計算（GDP）」等の加工統計の基礎データとして利用されるなど、農業施策の推進に貢献しています。

— 統計部の魅力

統計業務は毎年調査し、公表することが主であり、どちらかと言えば地味な業務に思われるかもしれませんが、しかし、昨今ではデータに基づいた政策の検証や立案が求められており、毎年公表する調査結果は、農林水産省の施策の方向性を確認する上でますます重要な役割を担っています。また、調査結果は、省内だけでなく新聞やメディア等に取り上げられる機会も多いのですが、そのような場面ではより充実感や達成感を感じることができそうですが、その分、統計結果の重みを感じる仕事でもあります。

最後に、私は入省するまで「農業」や「統計」との縁がほとんどなく、業務を担えるのかと不安を抱えながら入省しましたが、入省後は統計理論の基本的な研修や先輩方からOJTなどにより丁寧に基礎から学ぶことができました。私が入省した当時よりも研修制度が充実していますので、安心して入省してきてください。



— 学生へのメッセージ

就職活動中は、様々な省庁や企業を訪問し、それぞれの職場の雰囲気や直に感じることができる貴重な時間だと思います。これからの人生においてもこのような貴重な経験を積めることは少ないと思いますので、体調に気をつけながら頑張ってください。

統計部では、先輩方が築いてきた伝統ある調査手法に加え、AIやドローン、デジタルデータを活用した新たな技術の導入を図るなど、「伝統」と「進化」を融合する取り組みを行っています。みんなと一緒に伝統に最新の技術を組み込んだ新たな統計の作成を築き上げていけたら嬉しく思います。

私は正確なデータを 提供するための 総合調整業務を担当しています。

統計企画管理官付統計企画班企画第3係長

石樵 望

career

平成18年 入省（Ⅱ種行政）統計部管理課
平成25年 育児休業（約1年半）
平成26年 育児休業（約1年）
平成28年 統計部生産流通消費統計課園芸統計班果樹統計第2係長
平成30年 統計部生産流通消費統計課園芸統計班花き統計係長
令和元年 育児休業（約8か月）
令和3年 統計部生産流通消費統計課園芸統計班果樹統計係長
令和4年 現職



— 志望動機

都市近郊農業を行う畑に囲まれた地域で農業を身近に感じて育ったこともあり、人の心と体を育む「食」、「農業」に関わる仕事がしたいと思い、志望しました。

— 現在の仕事内容

農林水産統計データは、日本の農林水産業の実態を広く国民に提供する「公共財」です。

統計企画管理官室は、正確で信頼される統計データを提供するため、世の中の動向やニーズに合った統計調査の企画、運営及び提供に関する総合調整を行っています。

具体的には、①統計調査を実施するために必要な申請・承認の手続きに関する総務省との連絡・調整、②調査結果を審査・集計するシステムの開発、③調査結果の公表・広報、④農業統計整備のための国際的な技術支援、⑤10府省庁共同による産業連関表の作成、⑥人工衛星画像データ等の新技術を活用した新たな調査手法の開発などの幅広い業務があります。

また、令和4年度から部内横断的な「統計データ分析支援チーム」を立ち上げ、農林水産統計等を活用した分析業務を推進、データ等に基づく政策立案を支援するとともに、データサイエンティストを育成するための取組などを行っています。

私が担当する企画係は、室の窓口となり、これらの業務が円滑に進むよう、省内の政策部局や統計部内各部署と連絡・調整を行うことが主な業務ですが、突発的な事案が発生した際には、室の中心となって室員と協力しながら組織的に対応します。

— 最も印象に残っている出来事・経験

当室は、省の働き方改革の取組の一環として、業務グループ（班）のフレームを柔軟化したグループアドレス制を導入するオフィス改革を令和6年1月に実施しました。私は、オフィス改革に向けて、若手職員を中心に編成した室内検討チームのリーダーを務めました。

検討チームでは、コミュニケーションを一層活性化させる「働きやすい職場づくり」に向けて、班の座席配置の検討やポストコロナの働き方の議論を行うとともに、テレワークの活用促進やグループアドレス導入後の室内ルールの策定などに取り組みました。

「働きやすい職場環境を自分たちで創る」というクリエイティブな取組に企画から実施まで携わったことは、貴重な経験となりました。

— 学生へのメッセージ

統計部では、チームで協力しながら統計を取りまとめしていくため、上司や周りの職員とコミュニケーションを取る機会が多く、アットホームな風土があり、仕事と家庭の両立がしやすい職場です。私も3人の子供を育てながら働いており、充実した毎日を送っています。

男性、女性を問わず、やる気のある人なら、誰でも活躍できる職場だと思います。

みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

